# 再評価結果(平成23年度事業継続箇所)

担 当 課: 道路局環境安全課

担当課長名: 吉崎 収

事業名	なんさつじゅうかんどう 地域高規格道路 南薩縦貫道 かごしま かわなべ かわなべ 主要地方道 鹿児島川辺線(川辺道路)	事業区分	地方道	事業 主体	鹿児島県
起終点	みなみきゅうしゅう かわなべちょうこうどの 起点:鹿児島県南九州市川辺町神殿 みなみきゅうしゅう かわなべちょうりょうぞえ 終点:鹿児島県南九州市川辺町両添			延長	6. 5 km

#### 事業概要

主要地方道鹿児島川辺線 川辺道路は、薩摩半島を縦断し、同半島の骨格をなす地域高規格道路「南薩縦貫 道」の一部を構成する重要な路線であり、枕崎漁港の水産物をはじめ南薩地域の農水産物の市場拡大に寄与する とともに、鹿児島市への交流・連携の促進を図るものである。

平成13年度事業化 平成一年度都		<b>E都市計画決定</b>	平成15年度用地着手		平成15年度工事着手		
全体事業費	140 億円	事業進捗率	88 %	供用済	延長	4.0 km	
計画交通量 12,700~12,800台/日							
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 8.6	16/事業費:	(全体事業)     総便       151億円     15/148 億円       1.0/2.7 億円     走行費用:       交通事故:     交通事故:	3 7 / 1 7 豆縮便益: 11 <sub>或少便益: 1</sub>	t)/(全体事業 7 8 億円 8/151 億f 1/15 億f 9/12 億f	平成22年	

残事業について感度分析を実施 度 分 析

析 の 結 果 B/C= 10.0 (交 交通量変動 (交通量 +10%) B/C= 7.3 (交通量 -10%) 事業費変動 : B/C= 7.9 B/C = 9.5(事業費 +10%) (事業費 -10%) 事業期間変重: B/C= 8.3 B/C= 8.6 (事業期間-20%) (事業期間+20%)

## 事業の効果等

- ・国土, 地域ネットワークの構築 (地域高規格道路整備区間指定 南九州市川辺町大字神殿~南九州市川辺町大字両添 H12.12 7km)
- ・物流効率化の支援(枕崎のカツオなど農水産物の流通の利便性が向上が見込まれる)
- ・円滑なモビリティの確保(鹿児島空港へのアクセス向上が見込まれる 南九州市→鹿児島空港 約9分短縮)
- ·安全で安心できるくらしの確保(三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる 南九州市→鹿児島市立病院 約9分 関係する地方公共団体等の意見
- ・南九州市など3市で構成される「川辺地区総合開発期成会」より整備促進の要望を受けている。

- 事業評価監視委員会の意見 事業を継続することが妥当である。
- ・鹿児島県知事の方針:委員会の意見を受け、事業継続とした。

## 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・平成19年12月1日に頴娃町、知覧町、川辺町が合併し「南九州市」となる。

### 事業の進捗状況、残事業の内容等

・用地買収については、99%が完了。これまで南九州川辺ダムIC~南九州神殿IC間(4.0km)を供用 しており、残る2.5 kmについて、用地買収及び改良工事を推進中。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・埋蔵文化財調査に時間を要していたが本年度調査完了。今後は残る区間の早期事業完了を目指す。

### 施設の構造や工法の変更等

・コンクリート二次製品や再生材等の利用などを推進しコスト縮減を図っている。

対 応 方 針 業継

対応方針決定の理由

・以上の事業効果及びコスト縮減等の内容、事業評価監視委員会における審議、知事の方針を踏まえると事 業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。